

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、20～25℃台を示し、平年並み～やや高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網—西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり1トンの水揚げで、前週の33%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げで前週の2倍（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり8トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- イカ釣-----スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり4kgの水揚げで、前週並み。壱岐勝本地区では1日当たり926kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり18kgの水揚げで、前週の69%（前年並み）。壱岐勝本地区では1日当たり41kgの水揚げで、前週の1.6倍（前年を上回った）。
- 定置網-----五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり1.7トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり87kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり96kgの水揚げ。
- 一本釣-----北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり207kgの水揚げで、前週の51%（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（10/26～10/28の3日間）沖合イカ釣（船凍船）は、大和堆で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬～浜田沖～隠岐諸島周辺～能登半島沖～新潟沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）3日延30隻、総計1,537箱、1航海最高126箱、平均51.2箱。

スルメイカを漁獲、魚体は20～30入り。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第3-31号 長崎県周辺海域の海面水温（11月号）」を発表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>